

レピータ使用時の運用のポイント (確認と呼び出し)

① ゲート越えの時は、接続先のレピータが使用中かどうかを確認

接続先のレピータは直接受信できないため使用中かどうかわかりません。
そのため、いきなりCQを出すのではなく、まずは確認を行います。
同時に自局のアクセス状態やゲート越え接続が正常かどうかの確認にもなります。



A DV D+ 18:02	
TO	福島430 JP7YEZ A
FROM	さいたま南430 434.060 JP1YLQ A

さいたま南430MHz (JP1YLQ) から
福島430MHz (JP7YEZ) に接続

重要 ■PTTを1~2秒押しして送信(かチャク)して、受信に戻した時のメッセージを確認!

「UR? : JP1YLQ A/」と、**UR?**が表示されればOK (詳細は3ページ)

注意: 「UR? : JP1YLQ A/」と表示が出ていてもちょうど送受信の切れ目で、福島レピータで交信中かも知れません。⇒ 5秒から10秒後にもう一度カーチャックをして確認するとよりベスト。

👉 NG! : 頻繁にカーチャックするのは「マナー違反..」 (接続チェックとアナウンスをするのが良い方法かも...)
👉 NG! : はしごカーチャック (レピータを切り換えてすぐに十分ワッチをせず、アクセスすること)

② レピータでのCQの出し方

■CQは簡潔・短時間、そしてCQの連続は控える。

まずはレピータ使用ということを意識しましょう。大勢の局がワッチしています。また、D-STARは受信した局のコールサインが表示されます。このような特徴を生かしてCQは簡潔に行います。

■使用しているレピータと接続先レピータの名称をアナウンスする。

特にゲート越えの場合は、どこのレピータを使用しているかをアナウンスをするとワッチ局に対してわかりやすくなります。「コールサイン指定呼出」の時は、相手局がどこのレピータかわからないため
自局が使用しているレピータの名称のみをアナウンス

■CQを出したら、しばらくワッチする。

相手局が応答するために設定をしているかもしれませんので、しばらくワッチしましょう。

👉 NG! : 長々とCQを出したり(連呼)、短時間連続CQ(繰り返し)は「マナー違反..」

これが基本⇒
・ CQ CQ CQ こちらは JR1UT1 **さいたま南**レピータ**山かけ**です。
・ CQ CQ CQ こちらは JR1UT1 **さいたま南**レピータから**福島**レピータです。
福島レピータでどなたかお聞きの局QSOをお願いします。どうぞ。

これは??⇒
・ **さいたま南**レピータから**福島**レピータ、**コールサイン指定**です。
・ **さいたま南**レピータ**山かけ****コールサイン**指定です。
・ **さいたま南**レピータから、**ゲート越え****コールサイン**指定です。 ←おかしな呼び出し方です。

レピータ使用時の運用のポイント (応答とQSO)

③ 応答と交信(QSO)方法

- 応答する時も使用レピータをアナウンスをするとワッチ局がわかりやすくなる。

応答例：JR1UTI こちらは Jx7xxx **福島レピータ**からですどうぞ。(送受信ごとに毎回は不要 ← 無駄デス)

- QSOの内容とレポート交換は？

- ・ QSOの内容は、特別なことはありません。QTHやQRA, 了解度など一般的な内容でOKです。
- ・ レポート交換は了解度のみでOKです。「メリット5」, 「クリアです」, 「少々音声途切れます」など。
※ **59メリット5**というレポートは**あり得ません**。レピータからの電波なので相手局の信号強度ではないため、シグナルレポートは意味がありません。「レピータの信号強度(S)は**9**です」ならOK。

- 交信(QSO)は、なるべく短時間で終わるようにする。

レピータ使用ということ意識しましょう。JARLのレピータホームページに「レピータ利用の交信は簡潔明瞭に手短な交信を心がけましょう」とあるように、**QSOは短時間**がマナーと言えます。

また、**連続使用は控えて**少し間を空けてから使用しましょう！(最低でも2～3分かな?)

 **NG:長時間QSOや連続使用も「マナー違反..」**

20～30分とか1時間近く連続使用があります。←NGデス! ほどほどに!(長くても10分程度かな?)

④ スマートな運用のために

- ゲート越えQSOをしなくても良い場合があります。

お互いが同じレピータにアクセスできる場合は「ゲート越え」QSOは控えて「**山かけ**」にしましょう!

特に、**広域レピータ**使用時は注意が必要です。(1エリアでは、堂平山, 御岳山, つくば, 千葉長柄 など)

 **レピータ2局を占有してしまいます。**

- PTTを押す前に、接続先(TOやUR)の設定を確認しましょう!

注意

ゲートウェイを使用した交信(ゲート越え)の終了後は、設定を「山かけ」に必ず戻しましょう。

 **TOやURを CQCQCQにする**

ゲート越え設定(URやTOが福島430)のまま、さいたま南レピータの局間で交信を開始すると自分の声だけが福島レピータからも出てしまいます。福島レピータで聞いている局は一方通行です。

確認方法 (正常にアクセス?/設定は正しい?)

⑤ 必ず行うもの

- 無線機に自局のコールサインを正確に MY に設定
- JARLの管理サーバーに**必ず自局のコールサインを登録**

桁→ 1 2 3 4 5 6 7 8

MY:

J	R	1	U	T	I		
---	---	---	---	---	---	--	--

 ←「無線機名」なし

MY:

J	R	1	U	T	I	F	
---	---	---	---	---	---	---	--

 ←「無線機名」F

重要: 上と下は意味が違います。(まったく違う局になる)

⑥ 確認は、送信(カーチャク)後に表示されたメッセージで判断

[PTTを1~2秒押して送信(カーチャク)する]

あまり頻繁に又、連続して
行うのはマナー違反...

※JARLの管理サーバーの「無線機名」に
どのように登録したかが重要

①, ②, ⑤が良く出るメッセージ (さいたま南レピータ (JP1YLQ)にアクセスした例)

GW越えQSO	メッセージ	主な理由
できる	① UR?: JP1YLQ A/	URに指定した比°-タに接続されていて、接続先の比°-タは使用可能
できない	② RPT?: JP1YLQ A/	URに指定した比°-タに接続されていて、接続先の比°-タは使用中
	③ RPT?: JP1YLQ G/ RPT?: (URのコール)G/	URのコールサインが違っている、比°-タのゲートウェイ(GW)が不調、自局のコールサインをJARLの管理サーバーに登録してない、自局や比°-タのコールサインが違っている、MYの8桁目の識別(なし, A~Fなど)が違っている、コールサイン指定呼出で相手局がJARLの管理サーバーに未登録、など
	④ RX: JP1YLQ A/	設定したR1 (RPT1)かR2 (RPT2)又は両方の比°-タのコールサインが違っている ※RXでなくRPT?が表示される機種があります。
	⑤ RX: /	比°-タに自局のコールサインが認識されていない (電波状況/アクセスが悪い) MYに自局のコールサインを設定してない (MYがブランク)

👉 これです! ⇒ UR? が出ればOK! UR? 以外はNG! ※「山かけ」の時も同様です。

👉 補足説明

- メッセージ① : URに比°-タや呼び出し局のコールサインを設定しても、R2の8桁目にGが未設定の時は、URやMYの設定が間違ってもUR?になります。【DRモード以外の時】
※ゲートウェイ(GW)を越えない設定になるため、Iラにならないため。
- メッセージ③④ : 無線機側のデジタル設定項目の「デジタル比°-タセット」を「ON」にしておくと、比°-タのコールサインが違っていてもR1, R2が自動設定されます。【DRモード時は設定されない】
- メッセージ⑤ : 電波の状況が悪い時や送信のタイミング等で、自局のコールサインのデータが正常に送出されていないか、比°-タ側で自局のコールサインが認識されていない場合にも表示されます。

桁→ 1 2 3 4 5 6 7 8

R2:

J	P	1	Y	L	Q		
---	---	---	---	---	---	--	--

 GW越え設定なし

桁→ 1 2 3 4 5 6 7 8

R2:

J	P	1	Y	L	Q	G	
---	---	---	---	---	---	---	--

 GW越え設定あり